

風

特集 キャリア育成センター
徹底活用術

[K A Z E]



梧山女学園大学報

Vol.

56

March 2022

Index

- 01 [特集] キャリア育成センター徹底活用術
05 教員研究紹介
06 クローズアップ梧大生

- 07 クラブ紹介
08 NEWS
11 キャリアサポート情報

- 13 学生支援
15 OG INTERVIEW
17 INFORMATION

Sugiyama
人間になろう

1・2年生から活用しよう！

キャリア育成センター徹底活用術

2015年に女性活躍推進法が施行され、女性がその個性と能力を十分に発揮し活躍することが、
より一層期待される社会になっています。

毎年、栃山女子大学の卒業生のほとんどが、企業や公務員に就職し、職業人として第一歩を踏み出しており、
『就職』はすべての栃山生にとって大きな関心事の一つです。

今回は、就職活動・進路選択をサポートするキャリア育成センターを紹介していきます。



キャリア育成センターはどこにあるの？

〈星が丘キャンパス〉



【開館時間】平日 9:00-18:00／土曜 9:00-13:00
夏期(8・9月)・春期(2・3月)9:00-17:00

【閉館日】日・祝日※その他行事による閉館もあり

〈日進キャンパス〉



【開館時間】平日のみ 10:00-16:30

【閉館日】土・日・祝日、夏期(8・9月)・春期(2・3月)



キャリア育成センターは何をしているの？

1. 就職ガイダンスや各種セミナーなど支援イベントの開催

2. 進路・就職相談

3. 求人情報の紹介、就職斡旋

4. 就職等に関する情報収集・分析・発信

5. インターンシップ支援

6. キャリア教育支援



キャリア育成センターに行ったらどんなことができるの？

個人面談



予約がなくても
ふらっと寄って
相談もOK
(混雑時は除く)

進路に関する相談
ができます。書類
添削や面接練習に
も対応します。オン
ラインで自宅から
の相談も可能です。
原則予約制です。



就職関係資料や情報の閲覧



オススメの筆記試験対策の本が借りられます！

求人情報や先輩たちの活動報告書
は求人検索ナビから確認できます。



指定履歴書を販売しています。
(5枚100円：売店でも購入可)



書類送付用の封筒や
履歴書用下書き用紙を
無料配布しています。

Q

1・2年生から利用していいの？

A

もちろん、1・2年生からの利用は大歓迎です！就職に関する窓口だからといって硬くならなくとも全然大丈夫です。資料や就活に関する本を眺めるだけでもいいです。気軽に相談や質問に来てください！

1・2年生にオススメ！

キャリアなんでも相談会

なんでも相談会って何？

星が丘キャンパスのキャリア育成センターで開催される学年や学部学科に関わらず、その日集まったメンバーで行う参加型イベントです。友人と一緒でもOK、一人でもOK、相談したいことがまとまっているなくてもOK。聞くだけでもOKのなんでも相談会です。

開催スケジュール

週2日 ランチタイム(12:30~13:10)に開催
※詳しいスケジュールは別途お知らせします。



[これまでこんなテーマで話をしました]

- 将来、どんな仕事をしたらいいんだろう？
- 就職ガイダンスや各種セミナーの疑問・質問、なんでもお受けします！
- 面接で本当に大切な3つのポイント
- 『なりたい職業がわからない』方のお勧め企画
- 『インターンシップ(単位認定型・自由応募型)』の疑問を解決しよう！
- 事務・営業の仕事を細かく分類してみよう

MESSAGE!

私たち4人が中心になって、なんでも相談会を開催しています。キャリア育成センターってどんなところ？なんて気になる人はまず『なんでも相談会』から参加してみてはいかがでしょうか？あなたが利用したいと思った理由で参加してください。参加者の中にはコロナ禍で友人が作れなくて困っていたなど、さまざまな理由で参加しています。もちろん私服の参加でOK！キャリア育成センターだからといって「スーツじゃないと参加できないのでは??？」といった心配はありません。話しやすい雰囲気の中で気軽に話すことで「そっと背中を押してもらえた」という声をいただいている。

クローズ
アップ

WEB面接室

大学の施設を利用して
効率的に就活をしよう！



設置台数：星が丘キャンパス 2台／日進キャンパス 1台



ノートパソコンやマイク付きヘッドホンが設置しております。顔を明るく照らすライトも用意しています。大学の安定したオンライン環境でWEB面接に臨めます。



遮音性が高く、スマートシールで外から見えないので、集中してWEB面接に臨めます。

予約方法

求人検索ナビから予約してください。

※3・4年生のみ、1・2年生は直接ご相談ください。

学生の声からはじまった「なんでも相談会」のスピンオフ企画

＼先輩たちの就活ストーリーを聞こう！／

100人いれば100通りの就活ストーリー

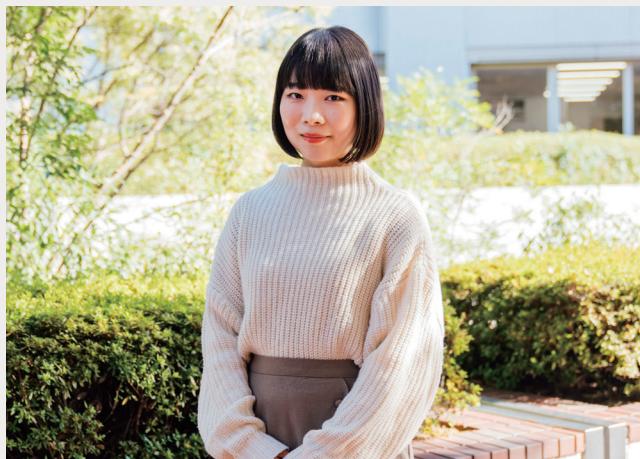
昨年、突然のコロナ禍で、帽山生が大学に通学する日常が一変しました。そんな中、当時の3年生から先輩たちの体験談など、リアルな就職活動の情報を知りたいとの要望が増加。そんな声をきっかけに生まれた企画が「100人いれば100通りの就活ストーリー」です。先輩の数だけ就活スタイルがある、就活のヒントがあるをコンセプトに、9月から12月頃まで週2回のペースで、ランチタイムにオンライン配信しています。

※開催の際は大学メールにZOOMのURLを送信します。

【2021年度はこんな話をしてくれました！】

- 就活スタイルは自分で決めていい！(国際:地方銀行)
- 就活では、場数をこなすことが大事！(人間:商社)
- メリハリで長い就活を乗り切り第一志望合格！(文情:国立病院)
- SPI試験方式で、公務員も一般企業もめざす方法(生活:公務員・管理栄養士)
- キャリア支援課をたくさん使おう！(現マ:自動車メーカー)
- 自らしさを直接で出すことを意識。志望していた4社から内定！(人間:信用金庫)
- 予備校に通わなくてもコツコツやれば公務員試験は受かるよ！(看護:公務員・保健師)
- 誰のためでもない自分のための就活(国際:自動車部品メーカー)
- 「東京の企業で働く」と覚悟したら、軸が決まった(人間:広告代理店)

就活ストーリーを通して後輩たちに伝えたい



私は、自己分析に特に力を入れて取り組み、就活中、繰り返し行っていました。実際、エントリーシート作成や面接の際に自身のことについて深く聞かれる場面が多く、自己分析に力を入れて本当に良かったと振り返っています。

こうした経験から、後輩には自分と向き合うことの大切さを伝えました。自己理解を深めることや、自分のためだけに考える時間を費やすことができるのは、就活のときだけかもしれません。就活は、自分にとってプラスの変化を与えるチャンスだと思って、前向きに大切に取り組んではいいです。私も就活で身につけた失敗を恐れない気持ちや決断する勇気を大切に、前向きな気持ちで働いていきたいと思っています。

管理栄養科4年 今村 百華さん(進路:地方公務員・管理栄養士職)

多くの先輩の就活ストーリーから自分だけの就活を発見



一人ひとりの就活スタイルは違うため、どのように就活をしてきたのか、どの時期にどんなことをしていたのか、いろんな先輩の体験や考え方を知りたいと思い、積極的に参加しました。さまざまな経験談をお聞きするなかで、自分もこうしてみよう行動し、参考になったところを吸収するようにしていました。

特に心に残ったことは、「周りに流されず自分のペースで取り組む。そして、早く内定をもらうことが決して良いことではない」ということ。正直、周りの情報から不安や焦りが生まれることもありますが、「自分は自分、他人は他人」と割り切り、自分が今までやってきたことも私の就活のやり方であり、自分だけの就活スタイルとして認めて良いと気づくことができました。

人間関係学科3年 松崎 百香さん



皆さんのが就活を支援する先輩帽山生たち

2021年度は、ご紹介する先輩たちがキャリア育成センターを通して後輩の就活を支援してくれました。一部ですが、協力者の先輩をご紹介します。キャリア育成センターでは、今後も先輩たちと就活生をつなげていきます。

社会人の先輩



「就活用のメイク講座」と題し、就活時に知っておきたいメイクのコツや証明写真のポイントなどを話してくださいました！

現在、美容部員として専門知識を生かしてお悩みに合わせたカウンセリング接客販売を行うと同時に、チーフとして後輩の育成にあたっています。自分の行動がお店にどう影響を与えるのか、「何のために」行動するのかを考えながら仕事をする毎日です。

就職活動で思い出すのはキャリアの方からの「何が原動力なのか」という問い合わせです。自己分析では、「得意」や「できること」を考えがちですが、「なぜ」得意なのか、好きなのかを知ることは、自分を見つめ直さなければできません。私は、そこから自分の方向性が見えてきました。

今は、仕事がとても充実しています。でも、就活の1年で人生が決まるわけではありません。良い意味でマイペースに就職活動してください。

ちふれホールディングス株式会社
日本化粧品検定1級、コスメコンシェルジュ OG 前嶋 優美さん

下級生の就活支援をするピアキャリアスタッフとして就活イベントの開催やLINEでの情報発信を行いました。

気をつけた点は、後輩が何を求めているのかを常に念頭に置いて考えること。1年前を振り返り、当時の自分が求めていたことを思い出しながら、不安や疑問の解消になるように企画しました。

就活は辛いものではなく、何にでもなるというポジティブな気持ちで取り組んでもらえることが私たちの願いです。後輩の将来の可能性を切り拓く助けになれば嬉しいと思いながら活動しました。辛いこと、悩むこともたくさんあると思います。自分を信じ、周りの力を最大限に活用して頑張ってください！

(左から)

天野 亜美さん(進路:食品メーカー・営業職)、石黒 愛果さん(進路:学校法人・事務職)、
安藤 千紗さん(進路:食品メーカー・総合職)

ピアキャリアの先輩



「就活作戦会議」と題して、ピアキャリアが各自の体験談を語り、アドバイスを送るイベントに多くの学生が参加しました。

キャリア支援NPO法人で活動する先輩



定期的にメンバーによる相談会を開催。就活全般の相談から書類添削まで、マンツーマンでじっくり相談対応しました。

全国113の大学で活動する日本最大のキャリア支援NPO法人のメンバーとして活動しています。

私たちは、就活の成功や失敗の体験など文字ではわからない情報届けることができます。また、他大学の学生との交流や就活情報を提供できることも特徴です。特に、実体験に基づく生の情報を伝えることを意識しました。

私たちが道を作るのではなく、あくまで自分自身で道を切り拓いていくようサポートすることが私たちの役目。後輩たちが「これが自分のファーストキャリアだ」と納得できるよう、自分らしいキャリアデザインのお手伝いをしていきたいです。

(左から)

後藤 玲南さん(進路:保険会社・営業職)、五ヶ山 晃子さん(進路:地方銀行・総合職)、
築山 歩未さん(進路:食品商社・総合職)、金原 みのりさん(進路:総合人材サービス・営業職)

\ PICK UP! /



SPECIAL INTERVIEW

教員研究紹介

FILE.No5

大木 直子 講師

DEPARTMENT

人間関係学科



「おもしろい本があるよ!」と友人から上野千鶴子さんの著書を紹介してもらったのがきっかけでジェンダーを知り、子どもの頃から抱いていた疑問が解消される「目から鱗」の体験をしました。そこから夢中になって学び、研究者の道へ。新しい研究領域として日本でも研究・調査が行われ始めた「ジェンダーと政治」をテーマにお茶の水女子大学、日本女子大学、大妻女子大学などで教え、2021年から本学で教鞭をとっています。

私が研究しているのは「どのようにして政治リーダーになるのか?」「男女でどういった違いがあるのか?」などのテーマです。政治分野を中心に、女性の社会進出に

ついて調査・研究していきたいと思っています。「どうして女性専用車両はあるのに男性専用車両はないのだろう?」「家事は女性がやるのが当たり前?」「好きなドラマでの男女の描かれ方は?」など、学びのための教材が身の回りにたくさんあるのが、ジェンダー研究の魅力です。

ゼミなどで学生にいつも伝えているのが、「まずは疑問形にしてみよう」という言葉です。ひっかかりがないと知識は頭に入ってきませんし、自分から探しに行かないと答えを得ることはできません。学びを通して自分の中に軸をつくり、自分の言葉で発信できる人間になってほしいと願っています。

\ PICK UP! /



SPECIAL INTERVIEW

クローズアップ帽大生

FILE.No6

高御堂 友香 さん

DEPARTMENT

看護学科4年

高校3年生の時に、看護学部の模擬授業を受けたことで、看護師をめざそうと思いました。高齢者の食事介助についての講義で、看護師は日常生活の援助も行うことを知り、とても驚きました。そして、患者さんの生活に目を向け、より良く暮らしていけるよう支援していく看護師の仕事に魅力を感じました。

大学2年生の実習で、がん患者さんを受け持ったことで「がん看護」について関心を持ちました。患者さんから「あなたにお話を聞いてもらえたから、治療をがんばっていこうと思えた」と言わされたことで、患者さんの不安な気持ちを和らげ、心身ともに支えていける看護師になりたいと強く思いました。



良い影響を与えられる看護師になりたい。

患者さんに寄り添い、

4年間の学びの中では、グループディスカッションの機会がたくさんありました。そのおかげで、自分の意見や考えを伝える力が身についただけでなく、多くの人の意見で視野が広がったため、患者さんへの対応に生かされたと思っています。また、実習でつらいことがあった時にも先生が励まし、支えてくださったことで、私はめざす道を進むことができました。



将来の目標は、より専門的な知識や技術により、患者さんやご家族の痛みや苦しみを緩和していく「緩和ケア認定看護師」です。患者さんの背景や価値観に寄り添い、良い影響を与えられる看護師になりたいと思っています。

(取材:新聞報道部 弓削 真珠)



CLUB INTRODUCTION

クラブ紹介

CLUB
 Vol.
03
March 2022

Group

体育系クラブ

Club

バレーボール部

ACTIVITIES

活動内容

バレーボール部は、毎週火、木、土曜日の週3日間、星が丘体育馆第1競技場で練習を行っています。大会1か月前からは、金曜日も含めた週4日間の練習を行います。練習メニューは、サーブやレシーブ、スパイクなどの基礎練習から、大会本番をイメージした練習試合も行います。

現在の部員は15名。外部コーチは招かず、経験者を中心に普段の練習を進めたり、大会へのエントリーを行ったりしています。高校までの部活動とは違い、部の運営すべてを自分たちで行うことは大変です。しかし、2019年には東海地方の大学が集まる「東



海大学男女バレーボールリーグ」で、2部リーグに昇格することができました。昨年はコロナ禍で大会に出場することはできませんでしたが、今年の春の大会では、2部リーグの残留を目指に、日々の練習に励んでいます。

部員の学部はさまざまですが、部活終わりにご飯を食べに行ったり、履修や実習などの学生生活について相談し合ったり、とても仲が良いチームです。技術や学年に関係なく、お互いに助け合えるところや一緒にいて楽しい、一緒にやっていこうと思える仲間がいることが部の魅力です。

(取材:新聞報道部 嶋 礼緒奈)



SUGIYAMA NEWS

その他の
ニュースは▶
こちらから
<https://www.sugiyama-u.ac.jp/>



第60回桜大祭を開催

10月16日(土)と17日(日)、星が丘キャンパスにおいて、第60回桜大祭を開催しました。今年のテーマは「結」。人と人とのつながりが大切なこの時代、桜大祭をつくり上げるすべての人たちと縁を“結”べるように、という想いが込められています。

16日のオープニングでは、後藤宗理学長と大学祭実行委員長の挨拶がありました。そして、サークルやゼミが出店した模擬店、音楽ライブが行われた屋外ステージ企画をはじめ、企業とのコラボ企画など、来場者を楽しませるユニークな内容で、会場は終日盛り上がりを見せました。

なお、今年は新型コロナウイルス感染症対策を十分に徹底したうえで開催しました。

また、例年開催の「桜山ホームカミングデイ」は残念ながら中止となりました。

【新型コロナウイルス感染症対策】

予約制：参加人数を1日あたり最大1,000名以下に限定



令和3年度「父母の集い」を開催

11月6日(土)、令和3年度「父母の集い」を開催しました。これは、在学生の保護者の皆さんに本学についての理解を深めていただくことを目的に、大学および大学振興会が毎年企画しているもので、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、2年ぶりの開催となりました。

開催に先立ち後藤宗理学長が、本学の現状を報告し、コロナ禍の教育に関する取り組みについて述べました。続いて、キャリア支援課の渡部眞也課長が、令和2年度の就職実績をはじめ、就職活動の現状や本学のキャリア支援について説明しました。

その後、学部別の説明会を実施し、学部長の挨拶をはじめ、教員による教育内容の説明、在学生による学生生活の紹介、卒業生による近況報告などを行いました。

そのほかにも、希望者を対象とした教員との個別懇談や学部棟見学ツアーなどを実施し、保護者の皆さんと教職員が親睦を深める貴重な機会となりました。



学生がウィンターイルミネーションを制作

11月13日(土)から星が丘テラス(名古屋市千種区)を彩る毎年恒例の「ウィンターイルミネーション」が始まり、生活環境デザイン学科の学生が制作した作品が暖かな明かりを灯しました。

星が丘テラスとのコラボレーションは今年で9年目を迎え、同学科の専門教育科目「デジタルファブリケーション実習(照明)」(担当:山下健講師)を受講する学生44名が参加し、ミニチュアハウスなど85作品を設置。今年のテーマは、「Restart」。新型コロナウィルス感染症の影響を乗り越え、新しい生き方を模索し今を乗り越えていく姿勢、新たな日常へ一歩踏み出すことを船の出航と掛け合わせ表現しています。

街は、ロマンティックなイルミネーションにより、幻想的な雰囲気に包まれました。



元SKE48の矢方美紀さんの講演会を実施

12月13日(月)、表現文化学科が元SKE48の矢方美紀さんをお招きし、「わたしを“私”らしく表現する意義～考えよう 乳がんのこと 自分を表現すること」と題した講演会(司会:藤岡阿由未教授)を実施しました。矢方さんは、SKE48卒業後の2018年に乳がんのため、左乳房全摘出・リンパ節切除の手術を受け、その後自分の身体とどう向き合ってきたかをお話してくれました。声優になりたいという夢、そして将来のことを考えて手術を決意し、現在もホルモン治療を行っている矢方さん。講演会を通して、「私を表現することの大切さ」「自発的な選択と行動の重要さ」を力強く学生に伝えました。矢方さんの講演に続いて、講演会の運営チームの学生によるプレゼンとQ&Aが行われ、表現の多様性についての学びを深める機会となりました。

参加した学生からは、「つらい経験をしたからこそできる表現活動があることを知った」「自分らしい表現についてもっと学びたい」という感想を聞くことができました。



認知症サポーター養成講座を開催

10月21日(木)、人間関係学部で日進市中部地域包括支援センターから4名の講師をお招きし、認知症サポーター養成講座を開催しました。

本学は、「あいち認知症パートナー大学」の登録をしており、認知症への理解に取り組んでいます。今回の講座もその一環として開催され、社会福祉士資格取得をめざす32名の学生が、認知症の方やその家族を温かく見守る認知症サポーターをめざしました。

養成講座では、映像を用いて認知症の日常生活における困りごとが紹介され、望ましい対応の事例が示されました。また、記憶障害をはじめとする認知症の中心になる症状について説明を受け、家族や周辺の人の適切な対応や認知症の人やその家族の気持ちを理解し、地域で支えることが重要であることを学びました。

最後にロールプレイを体験。講師が認知症役となり、学生が話しかける訓練を行い、講師からお褒めの言葉をいただけるほどの対応を見せました。



パラレルキャリアについて知る特別講義を実施

11月10日(水)、文化情報学科の専門教育科目「基礎演習」(担当:向直人准教授)で、地理情報業界で活躍する植田糸美氏を講師にお迎えし、特別講義を行いました。

当日は、「ジオコミュニティ活動を軸にしたパラレルキャリアのすゝめ」と題し、自身の働き方や仕事内容についてお話いただきました。現在の植田氏は、地理情報に関する事業を展開するジオソリューション会社に勤務するほか、別の会社で測量士としても働き、さらに、個人事業主として地理に関する情報発信(相談受付やセミナー講師)などの活動を行っています。こうした本業を持ちながら、第二の活動をする「パラレルキャリア(複業)」という働き方について、ご自身の経験からメリットやデメリットなどを説明。また、学外でのコミュニティ活動に積極的に参加することを呼びかけ、そこで出会いやビジネスへの可能性について言及しました。



第9回ビジネスプラン・コンテストを開催

12月11日(土)、現代マネジメント学部主催による『第9回ビジネスプラン・コンテスト』本大会が開催されました。このコンテストは、大学生と高校生に現代社会の課題を解決するビジネスプラン、あるいは地域活性化プランおよび協賛企業からの提示テーマのプランを募集するもので、名古屋市信用保証協会、名古屋税理士協同組合、東山遊園株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、メルコグループ(株式会社バッファロー)(五十音順)の協賛で実施されました。今年度から、アドバイザーの皆さんに審査員などの形でご参加いただいたほか、協賛企業から多くの方々が観客として参加していただきました。

発表された内容は、SDGs開発目標のいずれかに関連した社会問題解決型のビジネスプランや〇〇ロス問題の解決と地域を活性化するビジネスプランなど、現代社会の課題に真正面から取り組むものが多く、非常に興味深い内容のプレゼンテーションが披露されました。



訪問看護の現場で働く卒業生による特別講演を実施

12月16日(木)、看護学部の専門教育科目「地域・在宅看護学概論A」(担当:福田由紀子教授)において、看護師として働く卒業生を講師にお招きし、訪問看護について学ぶ特別講演を実施しました。

当日は、訪問看護サービスを提供する株式会社FOOTAGE(名古屋市千種区)に勤務する卒業生の杉本真弓氏と中島美珠帆氏が、ご自身の経歴や現在の仕事内容について説明。大学病院などでの勤務経験をはじめ、実際の看護の様子を撮影した動画を紹介するなど、訪問看護の現場について解説しました。

杉本氏と中島氏は、在宅医療となった患者さん一人ひとりに合った治療を提案し、日々、さまざまな患者さんと向き合えることが訪問看護の魅力だと語り、楽しくやりがいのある自分らしい人生を見つけてくださいとメッセージを送りました。

受講した学生は、看護師という仕事の多くの可能性に気づき、将来について考える貴重な機会となりました。



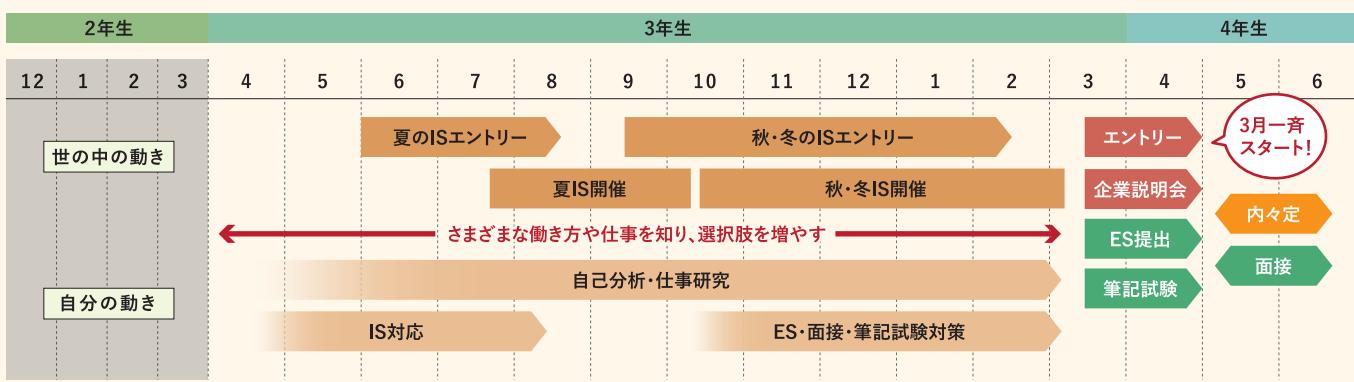
CAREER SUPPORT INFORMATION

キャリアサポート情報

コロナ禍で何か変わったのか? シューカツ最新レポート

コロナ禍により、企業も学生も置かれている状況が一変しました。コロナ禍で就職活動はどのように変化したのでしょうか。スケジュールやキーワードを通して、現在の就職活動事情を紹介していきます。

現在の就職活動の流れ・スケジュール



現在の就職活動事情を知る3大キーワード

就職活動の早期化

政府要請による就活ルールでは、広報、選考、内定それぞれの解禁日が「大学3年次の3月(広報解禁)」「大学4年次の6月(選考解禁)」「大学4年次の10月(内定解禁)」となっています。しかし、現状では3月広報解禁が選考解禁となっており、さらにインターンシップ参加者向けの早期選考が増加し、2022年卒では大学3年次3月1日時点の内定率がすでに20%を超えるという調査結果も。政府が要請するスケジュールとは裏腹に、早期の選考がいっそう進んでいることがあらためて浮き彫りとなっています。

インターンシップ

就職活動の早期化に大きな役割を果たしているのが、インターンシップ(文中ISと表記)。本学では、大学の正課授業のプログラムを「単位認定型IS」、企業などが独自で実施するプログラムを「自由応募型IS」と呼称し、それぞれ支援しています。特に自由応募型ISは「IS=就業体験」だけでなく、会社・業界説明タイプや模擬グループディスカッションの選考体験タイプなど多種多様なISがあります。企業によってはIS参加者に早期選考を実施するため、近年多くの学生が参加。夏のIS選考申込が3年次6月に始まるところから、就活準備も早期化しています。

オンライン就活

コロナ禍により、オンラインによるインターンシップや採用選考が大幅に増加しました。コロナ禍の落ち着きにより、採用側は対面型に戻す傾向もありますが、利便性からオンライン選考は継続・併用される見込みです。オンライン就活は対面に比べて気軽に参加でき、費用も掛からないというメリットもありますが、オンライン上では会社の雰囲気や周囲の動向が分からぬなどオンラインならではの難しさも。オンライン面接では、採用側は学生の雰囲気より話す内容を重視する傾向が強く、事前の準備がさらに重要になってきています。

学生生活をどう過ごしたら良い? → **納得した就職を実現するためのキャリア育成センター推奨就活ステップ**

1年次

- コンピテンシーテストを受検して、自分の持ち味を考える。
必須
- 「人間論」を受講し、自身のキャリアについて考える。
- 教養教育科目「女性とキャリア」の中から最低2科目を受講する。
推薦
- 大学4年間の目標を決め、取り組む。

大学生活を楽しむ

2年次

- 教養教育科目「女性とキャリア」の「インターンシップⅠ・Ⅱ」(単位認定型インターンシップ)を受講する(夏期・春期)。※教員・保育士・看護職志望は除く。
- 1年の時に立てた目標に向けて頑張る(3年次以降も続く)。

大学生活をもっと楽しむ

3年次

- 就職ガイダンスや就活イベントに積極的に参加する。
- 社会で生かせる自分の強みや持ち味、経験を文書と言葉で人に伝えられるようにする。
- 業界研究・企業研究を通して志望動機を固め、文書と言葉で人に伝えられるようにする。

就活も楽しむ

2022年度就活支援 主なイベントスケジュール(予定)

		企業就職・公務員対象			保育職・教員 (教育学部)	看護学部
		知る	実践	出会う		
2年生	4	2022夏期単位認定型 インターンシップガイダンス				
	10	2年生のための就活講座			教員志望者には教職サポートルームで別途支援します。	
	11	2022春期単位認定型 インターンシップガイダンス				
	12	就活準備支援講座				
	2	第1回ガイダンス(就活の進め方)	適性診断MATCH plus			
3年生	4	第2回就職ガイダンス(自己分析) 第3回就職ガイダンス (業種・職種理解・インターンシップ)	SPI適性検査			
	5	第4回就職ガイダンス (履歴書・エントリーシート・筆記試験対策) 2022夏期単位認定型インターンシップ ガイダンス				
	6	インターンシップ参加のための エントリーシート講座 公務員ガイダンス	第1回SPI能力検査	夏インターンシップ 紹介イベント		就活スタートアップ講座
	7		インターンシップ向け 面接講座		保育職志望3年生対象 就職ガイダンス	
	8	夏季休暇就活特別講座	筆記試験用: 数学の基礎・思い出し講座			
	9		公務員模擬試験			
	10	第5回就職ガイダンス (前期振り返り・面接対策) 秋スタート者用就職ガイダンス (前期総集編)		内定者・OG交流イベント (10月~12月)		就活の始め方 フォローアップ講座
	11	第6回就職ガイダンス(就活準備最終確認) 本選考のためのエントリーシート 最終仕上げ講座 秋スタート者用履歴書・エントリーシート 書き方講座 U・Iターンガイダンス	第2回SPI能力検査	業界研究セミナー	各自治体教員採用試験 説明会(11月~12月)	
	12	本選考のための志望動機書き方講座	面接・グループ ディスカッション実践講座 面接対策マナー講座 (12月~1月)	公務員合格者交流会		就職説明会・先輩たちの 就活ストーリー 自己理解・応募書類作成 ワーク講座
	1	直前面接対策講座	面接・グループ ディスカッション実践講座	学内合同企業説明会 紹介イベント		履歴書対策講座
	2	超直前就活対策講座	面接・グループ ディスカッション実践講座	学内合同企業説明会	保育職志望3年生対象 自己理解セミナー	病院案内会
	3			学内合同企業説明会		面接対策講座
4年生	4				各自治体教員採用試験 説明会(4月~5月)	
	7	就活リスタート講座				

2022年1月時点の計画で決定内容ではありません。開催時期・内容については、変更される可能性があります。随時メールなどキャリア育成センターからの情報を確認してください。



学生生活をサポート

学生相談室では、学修、友人関係、進路、家庭の問題、経済的な悩み、自分自身の性格など広い範囲にわたる心の相談を受けつけています。大学生活の中でのさまざまな問題、悩み、心配ごとについて、一人で思い悩むのではなく、ぜひ気軽に相談してください。

公認心理師、臨床心理士の資格を持つ経験豊富なカウンセラーたちが、学生の皆さんのがより充実した学生生活を送れるようにサポートします。

グループ活動

学生相談室は、学生生活全般の相談に加え、学生間の交流の活性化を目的に、年に2回グループ活動を企画しています。このグループ活動は学生相談室を利用していない方も広く参加しています。

過去のグループ活動(例)

2021	スワッグ作り クリスマスキャンドルリング作り
2020	ハーバリウム作り クリスマスリース作り
2019	音楽の力でリフレッシュ お正月飾り作り
2018	ヨガ体験 ハーバリウム作り
2017	ヨガ体験 クリスマススワッグ作り



主任カウンセラー
橋本 容子先生

MESSAGE!

学生相談室で企画しているグループ活動の中でも、特に作品作りは学生から人気が高く、写真のハーバリウムやクリスマスリースはその作品の一部です。新型コロナウイルス感染症との付き合いは、この先も続くかもしれません。ストレスの多い日々に、ほっと一息つけるような機会をご一緒にできればと思っています。企画の案内はジャーナルでお知らせしますので、どうぞご参加くださいね！

ハーバリウム作り



クリスマスリース作り



お正月飾り作り



クリスマススワッグ作り



Student's VOICE!

はじめて学生相談室のグループ活動に参加しました。バランスなどを見ながら作っていくことが難しかったけど、自分で考えて進めていくことができ、友達とも触れ合えて、楽しかったです。モノづくりが好きなので、また機会があったら参加したいです。



広がる国際交流

留学生との交流を通じてお互いの文化や習慣、言葉を学ぶクラブSAIC。不定期ですが、週に1, 2回集まり、留学生との交流企画を提案し合っています。留学生とは、お互いの国の紹介にとどまらず、研修旅行に同行するなど実践もあり、楽しく活動中。留学生と交流したい方、海外に興味がある方など、ぜひ気軽にメンバーになってみてください。



文化情報学科3年
加藤 結女さん

Student's VOICE!

授業でアジア文化を学んでいた私は、もっと深く知りたいと思い、SAICに参加しました。留学生とお昼と一緒に食べたり、授業と一緒に出席する中で、日本語がとても上手く、コミュニケーション能力も高いことに驚き、自分ももっと語学力をつけようと刺激を受けました。たわいもない私との会話を留学生が覚えていてくれて、アウトプットしてくれたときはうれしく、世界の友達とつながれたという思いでした。今後は、SAICの企画で、留学生と一緒に国内旅行をして新しい発見をしたり、幼い頃にしかやらなかった季節のイベントを実践することで、学生目線での新しい発見を得るとともに、自分の国の文化を振り返る機会を設けたいです。

MESSAGE!

留学生カフェだけでなく、日本の季節行事や文化を紹介するイベントの企画・運営から交換留学生対象の学外研修のサポートまで、SAICの活動は多岐にわたります。現在はコロナ禍のため、留学生のほとんどが来日できていませんが、オンラインでの活動を通じて交流を深めています。少しでも関心を持った方はぜひ一度、SAICの活動拠点である国際交流センターへお越しください！



学生課職員
加治 瞳美さん

留学生カフェ

学生と留学生の交流を目的に、毎月「留学生カフェ」を実施しています。昨年度からはコロナ禍の影響を受け、「SUGIYAMA Café」と題してZOOMを使用し、海外の男子学生も参加するなど、交流に広がりを見せています。参加者の募集、企画、実施をすべて学生が主体となり行っています。今までに、自身の所属大学の紹介や「旅行」「食べ物」といったトピックを決めて発表し、小グループに分かれて議論をするなど、それぞれの国の文化や社会事情の意見交換や相互理解を深める場となっています。



オンライン開催のSUGIYAMA Caféでは、協定校から来ている留学生だけでなく、性別問わず、幅広い学生と交流ができると思い参加。最初は、参加者の日本語レベルが一人ひとり違うので、コミュニケーションが上手くとれなかったり、対面のときより話す言葉やスピードを気をつけないといけない点に苦労しましたが、参加者が私の企画したトピックに興味を持ち、笑顔で話している姿を見られたときはやりがいを感じました。今、海外には簡単に行けませんが、画面を通してテレビやインターネットの情報だけでは得られない現地の様子を知ることができるので、興味のある方はぜひ参加してください！



表現文化学科3年
清水 琴理さん



学生サポーター制度

学生サポーター制度とは、学生自ら参加し、大学生活の不安の解消や各種活動を支援するなど、学生による学生のためのサポート活動です。活動内容は、新入生に対する大学生活への質問対応や受入交換留学生へのサポートのほか、さまざまなイベントを企画し運営をしています。

活動を通して学生同士で支え合うなど、学年を超えた交流を図ることもできます。同じ学生だからこそ分かり合える悩みと一緒に解決することで、支援を必要とする学生とサポートする学生の両方が成長できる制度です。

学生サポーターの声



管理栄養学科4年
森田 紗世さん



管理栄養学科4年
森田 真生さん

C なぜ学生サポーターになろうと思いましたか。

私たちが1年生のときに、先輩の学生サポーターが行っていた相談会をきっかけに、自分たちも下級生の不安の解消や力になりたいと思い、学生サポーターになりました。

C 学生サポーターを経験し、自分自身が成長したと実感していることはありますか。

行動力が身についたと思います。コロナ禍などのさまざまな課題がある中で、意欲を持った学生の想いを実現するために、企画の実施に向けて行動ができるようになったと感じています。

C 実際に行った活動はどんなことですか。

全学科を対象とした学校生活に関する相談会(対面とオンライン)や自分の趣味や特技を生かしたいという学生に対しての支援活動(バランスボールエクササイズ講座のサポート)などです。

C 学生サポーターを通して伝えたいことはありますか。

大学生にとって、人のために何か行動するというのは、自分の時間を使うことになるし、少し大変ですが、その分やりがいを感じができる活動だと思っています。この活動が学生全体に広がって行くことを願っています。

OG interview

卒業生の今

株式会社三菱UFJ銀行 勤務

榎本 莉奈 さん

Rina Enomoto

何事も前向きに、素直な気持ちで
人間性を高めていきたい。

中学から帽山女学園で学び、文化情報学科に進みました。大学の学びでは、1年生で参加した海外研修が印象に残っています。私の研修先は、カナダ北東部・ニューファンドランド島にある州立メモリアル大学。日本語がまったく通じない環境の中で「英語はもちろん大切だけど、それ以上に相手と心を通わせることが重要なんだ」という大きな気づきを得ることができました。

学業以外では、ゴルフ部と大学祭実行委員会をかけ持ちし、外資系ホテルでのアルバイトも経験しました。夏休みは合宿が続き、その合間にアルバイトを入れるというアクティブな毎日。アルバイト先にはさまざまな国籍のスタッフがいたので、そこでダイバーシティ(多様性)を受け入れる大切さも学びました。

就職先は三菱UFJ銀行選び、3年間は個人のお客さまに資産運用のご提案をする窓口業務を行ってきました。そして

法人営業へのキャリアチェンジを希望し、半年間の研修を経て、いよいよ実務が始まろうとしています。

窓口の仕事では、お客様のニーズに合わせた資産運用のご提案を行うだけでなく、MUFGグループの強みを生かした信託、証券、不動産販売など、あらゆる側面からのサポートで喜んでいただけることが一番のやりがいでした。担当したお客様がご家族を連れて来られるなど、頼っていただけたことがとても嬉しかったです。お客様の声を素直に受け止め、生かし、目の前の仕事や資格の勉強をコツコツと続けた結果、入社3年目には頭取賞と法人リテール部門長表彰をいただくことができました。法人営業は未知の領域ですが、幅広く社会の役に立ちたいという熱意を込めて仕事に取り組んでいきたいです。

これまでのキャリアで思い出深い出来事は、海外提携銀行の現地スタッフに日



本式の接客や顧客満足の取り組みを紹介するオンライン講義を行ったことでした。言語や文化の違いを理解しながら講義の表現方法や伝え方を工夫した結果、受講した方々から「数ある講義の中で一番おもしろくてためになりました!」と言っていただきました。国や言語が違ってもMUFGグループの銀行員同士で心が通じ合えたことに感動しました。これから始まる法人営業で経験を積んだ先には、海外勤務にもぜひチャレンジしたいと考えています。女性活躍のロールモデルのひとつとして、後輩たちに道を示すことができたらいいなと感じています。

2020年からのコロナ禍で誰もが大変な状況ですが、環境をどう捉えて行動するかで未来は変わってくると信じています。何事も前向きに、素直な気持ちで毎日を過ごすことで人間としても成長し、それが人生に良い影響を与えてくれると思います。栃山女学園の「人間になろう」という教育理念は、経験を通じて人間性を高めようという意味だと私は捉えています。

INFORMATION

インフォメーション

栃山女子学園大学の最新情報を
お届けします!

info
01

令和3年度のベストティーチャー賞は看護学科の杉浦美佐子教授

令和3年度のベストティーチャー賞に、看護学科の杉浦美佐子教授が選ばれました。

この賞は、本学教員の意欲向上と大学教育の活性化を図ることを目的に毎年選定されるもので、学生アンケートによる評価など、総合的に審査、選定された教員に対し、その功績を表彰するものです。

11月6日(土)に開催された「父母の集い」では、その授賞式が行われ、後藤宗理学長から杉浦教授に表彰状が手渡されました。

杉浦教授は、「看護は『実践の科学』です。知識の習得に留まらず、実践できる看護職を育成することを目標に、学生とともに頑張っていきます」と抱負を語りました。



info
02

三重県との就職支援に関する 協定を締結

12月1日(水)、三重県と本学は、就職支援に関する協定を締結しました。

この協定は、三重県と本学が連携・協力し、三重県内の企業による合同企業説明会を開催するなど、学生の就職活動を支援することにより、三重県での就職促進を図ることを目的としています。

本学は、三重県から多くの学生が入学しています。そのため、今回の協定の締結は、学生の進路、就職先やインターンシップ先を今まで以上に拡大するなど、よりきめ細かな支援が可能になると期待されます。

三重県と栃山女子学園大学との就職支援に関する協定書

三重県(以下「甲」といいます)と栃山女子学園大学(以下「乙」といいます)は、三重県の就職支援を支えるための連携・協力を目的に、甲に構成・設立するところに以下の事項を記載する所存である。

(目的)
第1条 この協定は、甲と乙が連携・協力をして、三重県内の企業による合同企業説明会を開催するなど、学生の就職活動を支援することにより、三重県への就職・転職の機会を増やすことを目的とする。

(協定の内容)
第1条 第1条の目的を達成するため、甲は乙に下記の事項を実施する。
(1) 三重県内における就職支援等の実施を協力する。
(2) 甲内で行う三重県企業等の就職説明会等の開催に賛同すること。
(3) 学生のリーダー対応にて就職説明会及び就職相談会を開催すること。
(4) 三重県内企業等における就職説明会の開催場所の提供を行うこと。
(5) 三重県内企業等における学生のインテーンシップ受け入れの実施に賛同すること。
(6) 其他、甲が乙の就職支援等の実施に協力する事。

(協定の締結)
第1条 甲と乙は、前条の目的を達成するため、次の事項に定めた事項について
相互に連携・協力を実施する。
(1) 甲は、乙が実施する就職説明会等の実施に賛同し、甲が乙に開催する三重県内企業等の就職説明会等の開催に賛同すること。
(2) 甲内で行う三重県企業等の就職説明会等の開催に賛同すること。
(3) 学生のリーダー対応にて就職説明会及び就職相談会を開催すること。
(4) 三重県内企業等における就職説明会の開催場所の提供を行うこと。
(5) 三重県内企業等における学生のインテーンシップ受け入れの実施に賛同すること。
(6) 其他、甲が乙の就職支援等の実施に協力する事。

(協定の締結)
第1条 甲と乙は、前条各号に定めた事項を実施的に行進するため、それぞれに
連絡窓口を設置し、連絡協力を実行する。

(協定の締結)
第1条 甲と乙は、本協定書に基づいて事業を実施するにあたり、相手方の取扱い等
の情報を参考し、別途に連絡し、又は連絡してみてならないただし、甲
前に相手方の取扱い等を確認する場合又は追加の上記手続により開示された場合この法
律でないときは、本項の連絡手続を遵守するものとする。

info
03

寄付金による施設設備・ 教育充実事業

新入学生の保護者のみなさまにご協力をお願いしております「施設設備・教育充実寄付金」は、2020年度に271万円のご寄付を頂戴いたしました。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

この寄付金(累積額を含む)を利用して、施設設備および教育の充実を図るため、2021年度に次の事業を実施したことをご報告申し上げます。

- 生活科学部:分光測色計の購入(1,602千円)
- 国際コミュニケーション学部:教室AV機器・プロジェクター更新(1,447千円)
- 人間関係学部:屋外照明器具増設工事(スクールバス停までの外階段)(781千円)
- 人間関係学部:5号棟306大教室 無線マイク更新(497千円)

なお、2021年度に実施していない学部については、2022年度以降での事業を予定していますので、今後ともご支援ならびにご協力をお願い申し上げます。

学長 後藤 宗理

「地方の時代」映像祭2021で優秀賞を受賞

メディア情報学科の柄窪優二教授のゼミが制作したドキュメンタリー「小さな命の意味～大川小語り部10年」が、「地方の時代」映像祭2021(市民・学生・自治体部門)で優秀賞を受賞しました。

この作品は、東日本大震災の際、大川小学校(宮城県石巻市)に通っていた次女を亡くした佐藤敏郎氏(当時、宮城県女川第一中学校教諭として教壇に立ち、現在は遺族として、語り部として活動)の思いを伝え、防災の大切さを訴えるものです。

なお、柄窪優二教授のゼミでは、同祭において2012年にも奨励賞を受賞しています。



愛知県のエシカル消費イメージ動画に入選

現代マネジメント学科の東珠実教授の研究室に所属する3年生の及部未夢さん、嶋藤沙季さん、佐々木春佳さん、江口珠花さん、金原令奈さんの5名が制作したエシカル消費イメージ動画が、愛知県の動画募集で入選し、11月7日(日)にナディアパーク(名古屋市中区)で開催された「あいち×エシカルフェスタ」で、大村秀章知事から賞状を授与されました。

エシカル消費とは、SDGsの達成にも貢献する人や社会や環境にやさしい消費行動のことで、愛知県は普及啓発のため、県独自のイメージ動画を募集。応募総数46作品のうちの入選10作品の一つに、及部さんたちの動画が選ばれました。

1分間の動画には、プラスチックごみにつながるビニール傘を買わずに済むような天気の確認や折り畳み傘の持参など、若者が身近にできる「貢わないエシカル」をはじめ、省エネにつながる具体的なライフスタイルが詰め込まれています。学生たちは、ゼミで学んでいるエシカル消費について短い動画で伝えることの難しさと楽しさを実感するとともに、他の受賞者の作品にも刺激を受けて、今後の活動に意欲を見せていました。



「第17回日銀グランプリ」で優秀賞を受賞

11月23日(火・祝)に日本銀行本店(東京都中央区)で、「第17回日銀グランプリ」(主催:日本銀行)の決勝大会が開催され、現代マネジメント学科の水野英雄准教授のゼミ生が優秀賞を受賞しました。

日銀グランプリは、「わが国の金融・経済への提言」をテーマに全国の大学生から提案を募集し、論文による一次審査と決勝大会での発表および質疑応答によりその内容を競うものです。今回は全国から122チームが応募し、その中から選ばれた5チームが決勝大会に進みました。

参加した同学科3年生の古橋実可子さん、永田千夏さん、森田早紀さんは、「教育投資信託(EIT: Education Investment Trust)による老後資金の運用で世代間の交流を図る」と題し、高齢者から投資された資金を学生に低金利で融資する教育ローンについて提案。少子化と高齢化による課題をEITでつなげることで一挙に解決するという点が高く評価され、優秀賞受賞となりました。また、東海地方の大学の決勝大会進出は10年ぶりとなり、年々難度が高くなる中での快挙となりました。



イベント情報

**SUGIYAMA
EVENTS****3月 [MARCH]**

- 5日(土) 後期追・再試験成績発表
 15日(火) 卒業式
 16日(水) 春季休業(~31日)
 25日(金) 在学生ガイダンス(新2年生)
 28日(月) 在学生ガイダンス(新3年生)
 29日(火) 在学生ガイダンス(新4年生)
 31日(木) 新入生オリエンテーション

4月 [APRIL]

- 1日(金) 新入生オリエンテーション
 2日(土) 新入生オリエンテーション
 3日(日) 入学式
 5日(火) 前期授業開始

7月 [JULY]

- 10日(日) オープンキャンパス
 18日(月・祝) 通常授業日
 25日(月) 前期定期試験(~30日)
 31日(日) 夏季休業(~9月20日)

※イベントは中止または変更になる場合があります。最新の情報は本学Webサイトでご確認ください。

5月 [MAY]

- 4日(水・祝) 通常授業日

6月 [JUNE]

- 1日(水) 学園創立記念日(休日)
 12日(日) スタートアップオープンキャンパス

古本募金ご協力のお願い

2014年10月から開始された「楣山女学園大学古本募金」は、本学の卒業生、在学生、教職員などの大学関係者から提供された書籍等の買取金額が本学への寄付となり、その全額が奨学資金に役立てられる学生支援プロジェクトです。

みなさまのご協力により、2014年10月1日から2021年12月31日までに、1,954,055円(今年度は180,887円)が集まりました。

この場をお借りして厚く御礼申し上げます。集まった寄付金は、本学学生の奨学金として活用させていただきます。今後ともご協力をお願い申し上げます。



編集後記

EDITOR'S NOTE

2020年の年頭より続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、健康面や経済面で影響を受けられた学生と保護者のみなさまにお見舞い申し上げます。さて、今号の特集は「キャリア育成センター徹底活用術」です。古くから「就職の楣山」と高く評価いただいているように、楣山女学園大学のキャリア育成には定評があり、それを縁の下で支えているのがキャリア育成センターです。大学は「求める者に与えられる場」です。キャリア育成センターだけでなく大学のさまざまなサービスを徹底活用して、みんなの大学生活を有意義なものにしてください。また、記事ではコロナ禍にありながらも創意工夫を凝らし、教育や研究の歩みを止めない楣山女学園大学の姿をご紹介することができました。今後もみなさまの温かいご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。(M.Y)

楣山女学園大学報「風」第56号

発 行 日 2022(令和4)年3月1日

発 行 梅山女学園大学 大学報「風」編集委員会

編 集 梅山女学園企画広報部広報課

編集委員会 山田 真紀／富田 和子／横家 純一／山根 一郎／飯塚 恵理人／山中 稚菜／宇佐美 久枝／
佐藤 厚子／原田 明人

題 字 鄭麗芸(文化情報学部教授)

〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17番3号

TEL 052-781-5940 E-mail kouhou@sugiyama-u.ac.jp

次号の発行は、2022(令和4)年8月の予定です。

楣山女学園大学
Webサイトは
こちらから

<https://www.sugiyama-u.ac.jp/>



Spirit!

可能性を切り拓く——。

2203-1-11000